

みんなげんき

令和元年
12月4日(水)
三郷小学校
ほけんだより



発熱、咳、インフルエンザも発生！

本校の欠席状況は、発熱、咳が止まらないなどで、12月3日(火)に急に増え、17名(うちインフルエンザ4人)の欠席者がありました。市内の小学校では、学級閉鎖も出ているようです。

普通のかぜの多くは、のどの痛み、鼻水、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまりみられません。インフルエンザはそれらの症状のほかに突然の38度以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が現れます。



うつらない！うつさない！で感染を防ぎましょう！

今後、流行する恐れがあるインフルエンザの感染を防ぐために、不織布のマスクを一つ、ランドセルに入れておいてください。また、こまめにお茶を飲むことも予防に大切なので、毎日、水筒の持参をお願いいたします。

マスクをつけよう	お茶でうがい	せっけん ^て で手をあらおう	無理 ^お な登校 ^{とうこう} はひかえましょう
ガーゼのマスクはウイルスが通りぬけてしまうそうです。感染を防ぐには、 <u>不織布のマスクを毎日持ってきてください。</u> 	お茶には殺菌効果があります。また、のどをうるおすことで、ウイルスの増加を防ぐ働きもあります。 <u>毎日お茶を持ってきてください。</u> 	インフルエンザウイルスは、患者さんのせきや、くしゃみ、手からウイルスが侵入します。石けん ^て で60秒間、手をあらいましょう。 	朝、食欲がない、おなかが痛い等、体調が悪いときは必ず体温を計りましょう。まだ微熱で、お子さんが学校に行きたがっても、流行時期には、感染を広めてしまう場合もあるので登校をひかえてください。 

- インフルエンザと診断を受けたら、速やかに学校へ連絡をお願いします。
- インフルエンザは出席停止です。登校する際は医師の「治癒証明書」が必要です。治癒証明書は学校からお渡ししますが、ホームページからもプリントアウトできます。



いのちの学習 4年の感想



「あなたのいのちは宝もの」^{だから}

2学期に、4年生と6年生で保健の授業「いのちの学習」を行いました。
4年生のみなさんの感想をごらんください。

自分のいのちが大切なことをあらためて感じました。お母さんが私を産むためにいのちがけで産んでくれたことを知ったので、お母さんに「ありがとう」と言いたいです。そして、これからも自分のいのち、ほかの人のいのちも大切にしたいと思います。

自分がここまで大切なそんざいだと初めて知りました。今までの自分を後悔しました。「なぜぼくは生まれてきたのだろう」と何度も思っていました。ここで死んだら両親がかわいそうだし、自分が生きる自信が持てました。



すごくいのちの大切さが分かりました。
はじめてぼくがすごい！ということが分かりました。

人が生まれてきたことはきせきだと分かりました。前までどこにでもいると思っていましたが、そうではなく、「一人一人が大切に育てられていたんだな」と、この勉強をして思いました。いのちはとても大切だとあらためて思いました。



いのちは、お母さん達が大切に私を産んでくれたので、うれしい気持ちになりました。今までに「死ね」「きえろ」と言われたことがあって、今までいやな気持ちでした。つい、「どうして私は生まれてきたのだろう」と思うことがありました。



保健の授業で、「生まれたいほうがよかった。といういのちはない！」と言っていたので、よかったです。

いつも自分は大切だと思っていたけど、もっと、もっと自分のいのちが大切なことがわかりました。自分のいのちは、「きせき」と言うことがわかりました。

保健の授業は、休まなくて良かったと思うことができるぐらい大切な授業でした。今まで、つらくて、いやで死のうと思ったときもありましたが、「つらいことをのりこえたら、楽しいことがある」という言葉を聞いて、生きていて良かったと思いました。



生まれてこなくてもよかったいのちはない！

今の自分は、たくさんの偶然が起きて存在しています。今まで元気に生きてこられたことも、当たり前ではありません。たくさんの人に愛され、自分の生きる力がわき出てきたからです。

このように、一人一人のいのちの奇跡を学ぶことで、自分の存在と人々の大切さをより理解し、「みんな、仲良く助け合い、心身共に健康で、幸せになる」を目標に保健の学習をすすめています。